

会 議 録

全部記録要点記録

1 会議名	第1回特別史跡姫路城跡保存活用計画検討専門部会
2 開催日時	令和元(2019)年12月2日(金) 14:00~15:45
3 開催場所	イーグレひめじ4階 セミナー室B
4 出席者又は欠席者名	委員：村上 裕道（座長）、藤本 真里、楠田 哲士、佐藤 哲也 事務局：観光交流局 和田 達也、奥村 正彦、安井 聖二、山本 剛、高島 佑介、高井 裕史、 河野光彦 パスコ：鎌田、山本 ※敬称略
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可 3名 報道関係 日刊1社
6 配布資料	次第、資料1~5、「特別史跡姫路城跡整備基本計画」抜粋 姫路市立動物園の「入園のごあんない」、姫路公園パンフレット
7 会議の全部内容又は進行記録	1 開会 2 開会のあいさつ 3 資料確認 4 出席者の紹介 5 座長の指名 村上委員を座長に指名、座長の職務を代行するものとして佐藤委員を指名。

6 議事

(1) 専門部会の進め方の説明

(2) 姫路市立動物園の現状の説明

(3) 動物園の移転等についての意見交換

(座長) 姫路市立動物園は約3haの敷地面積で年間50万人の来園者がある。

(委員) 姫路市の人口と同数程度の来園者がある。規模から考えると全国的にも非常に珍しい。

(座長) どういった地域から来園していますか。

(事務局) 姫路市内だけでなく西播磨地域から来園する方が多い。

(座長) 交通手段について教えてほしい。

(事務局) 家族で来園している方が多い。自動車利用が最も多く、立地の利便性から電車利用も多い。

(委員) 来園者の年齢層も幅広い。

(座長) 入園者に関しては立地条件が影響していると思う。

動物園の施設状況はどうですか。

(事務局) 施設改修は行っているが施設の老朽化も進んでいる。

新たに床面積を増やすことができない。また、飲食場所がない。園内にはベンチや芝生広場がある。お弁当持参で来園される方も多い。

また、動物園は姫路城内の休憩施設としての役割も担っている。

(座長) 遊戯具の維持管理はどうしていますか。

(事務局) 遊戯業者が日常的にメンテナンスをして、安全性を確保しながら運営している。

(座長) 近年の動物園運営の考え方や状況について教えて下さい。

(委員) 今は動物の保全と福祉、という考え方が主流である。

動物の保全と福祉を考える上で、大切なのは「ランドスケープ」である。これは、動物園の景観をつくりだす要素として植物や土、水に注目し、動物福祉を重視した環境の実現を通じて自然との共生を目指すというものである。

動物が心地よいと感じ、本来の生育場所に近い環境をつくる。そしてエンリッチメントを行い、動物福祉を実現することが大切である。

今後はこうした方向に沿って動物園を運営する必要がある。

(座長) 姫路市立動物園が担っている役割について教えてほしい。

(委員) この動物園は70年近い歴史があり市民との繋がりが深い。種の保存活動にも取り組んでおり、こうした経験と技術は長年の実績がないとできない。とても重要である。

国内の動物園には、年間で7000万人以上の人々が訪れている。動物に関心を持って訪れる

人々に対する環境教育活動も、今後の動物園には求められている。

(委員) エンリッチメントという専門用語について教えてください。

(委員) 環境エンリッチメントとは、「動物福祉の立場から、飼育動物の“幸福な暮らし”を実現するための具体的な方策」のことを指している。また、近年は生物多様性の喪失が深刻化しており、動物園・水族館における生息域外保全への期待も高まっている。

(座長) 姫路市立動物園には、市民のための動物園と種の保存等に関わる専門的な活動2つの側面がある。

(委員) 今は、キリンや象がいないとダメという時代から、動物種が限定されていても見せ方で来園者を惹きつける動物園が増えている。

動物園の面積が狭くても広くても何を見せるのか、そのために必要な動物、面積や設備は何なのかといったことを考える時代になっている。

(座長) そうした考え方は、来園する方に受け入れられていますか。

(委員) いろいろな種類の動物がいなくても、魅力的な動物園をつくれる時代になってきています。

(委員) 姫路市立動物園では種の保存にも力を入れています。地域的にみると姫路より西は、広島まで行かないと同様の取り組みをしている公立動物園がない。拠点として必要である。

(座長) 大学等の研究機関との関係はどうですか。

(委員) 動物飼育は大学等の研究機関では難しい。これは動物園の役割ですね。

(座長) 公立施設として役割についてはどう考えればいいですか。

規模は小さいが、運営の歴史は長く種の保存、繁殖活動にも取り組んでいる。

(委員) 年間 50 万人の来園者がある動物園は、決して小規模な動物園とはいえません。

特別史跡内にあるということで改修に制限があり、飼育環境が狭いといったデメリットはありますが、繁殖活動等の重要な役割を果たしています。

また、鷹匠プロジェクトといった、動物が介在する文化の復活といった取り組みも行っており、動物園にはこうした文化の継承に関わることもできる。

(座長) 動物園を存続させた場合、現在の敷地面積を意識して欲しい。この広さは小さな子供に理解できる広さだと思うのです。

(委員) 姫路城内にある動物園といっても、実は来園者の多くは動物園を目的に来ている。

(座長) 私も同意見です。

(委員) 私は長く姫路城に関わってきましたが、この動物園は、本当に姫路市立動物園が好きな人が支えていると思う。

昔ながらの遊戯具がある。懐かしい感じがして落ち着ける雰囲気がある。もっと宣伝をして来園者を誘導してもいいのではと感じましたが、やはり城内にあるということで制限されてし

まうのは大変残念ですね。

(事務局) 昭和 61 年には、移転という方針が出ている。

姫路城の天守まで登る人に比べて動物園は低料金で何度でも行きやすい。

(座長) 入園料は 4 歳以下、65 歳以上は無料、小人は 30 円で大人でも 210 円で運営している。

入園料を低料金に設定することは来園者には良いが運営的には持ち出しになる。

(事務局) 社会教育施設としての機能も有しているので政策的に配慮されている。

(委員) 他の公立動物園と比べても入園料が格段に安い。水族館はもう少し入館料が高いですね。もっと入園料を上げていいと思う。

(座長) 姫路城内における動物園の位置付けを教えてください。

(事務局) 特別史跡区域として姫路城を中心に約 107.85ha の区域が指定を受けている。

動物園は特別史跡地内の内曲輪にあり、ここにはかつて浮島等があり、殿様が東御屋敷から城へ向かう際の道筋であったとも聞いている。特別史跡区域には、文化財保護法が適用され現状変更には文化庁の許可が必要である。

動物園についても、現在ある建物の老朽化等に伴う維持管理ための最低限必要な改修にしか許可が下りない。獣舎の大規模改修ができないため、床におがくずを敷いたり獣舎内に樹木・植栽等を入れたり、玩具や給餌等いろいろ工夫して動物のストレスを少しでも軽減できるように努力している。

(座長) 状況はわかりました。史跡地にある類似の動物園について教えてください。

(事務局) お城の中にある類似動物園として和歌山公園動物園と小田原動物園がある。

小田原市はサル舎を残し5年ほどかけて整理しました。和歌山の動物園は城内から少々離れていることや市民からの反対もあり、現在も開園しています。

(座長) 和歌山市は、なぜ住民の反対があったのですか。

(委員) 和歌山は移転ではなく廃止の方針でした。

他の類似例では、とべ動物園は移転が前提であったため反対はなかった。

(座長) わかりました。それでは、姫路市立動物園の存廃について皆さんのご意見を伺いたい。

動物園は存続ということによろしいですか。

(委員) 全員了承。

(座長) 次に、特別史跡内にある動物園について意見をお伺いします。

現在地の史跡地内で動物園の施設工事できる範囲は制限されている。新規の建築や建て直しは無理だが修繕はできる。今のまま 20～30 年間使い続けることは可能なのか。

(委員) どの程度の範囲で改修が許されるかで判断が違ってくる。

動物園の景観づくりには植生が大切である。史跡地内で植物を植えたりすることはできるか

教えてほしい。

(座長) 動物の飼育環境改善に向けた改修であっても簡単には樹木を植えることはできない。
建物は基礎部分もさわれない。地面を通しての設備配管の工事も厳しい。

(委員) このまま手を加えられないということであれば、動物福祉の観点から、今後も批判を受け続ける。種の保存といった重要な役割を果たしていても、飼育環境が現在の水準に達していないと批判は避けられない。

(座長) 動物園運営を世界的な流れで考えれば、現在地から移転して存続という方向となる。
この方針に沿って次回のお話を進めたい。

(委員) 動物園を建設するとしたらテーマやどんな動物園をつくりたいかを考え、その上で動物コレクションプランを作成することが大切である。現在地で施設をどこまで改修・変更することができるのか、もう少し教えてほしい。

(委員) 水族館に関する資料もほしい。

(事務局) 施設の改修範囲については担当部署から次回開催時に改めて説明します。
水族館資料についても次回開催日までに準備します。

(座長) 他にご意見はありませんか、なければ事務局にお返しします。

7 閉会

長時間にわたり議論をしていただき、ありがとうございました。本日頂いた意見を踏まえ、次回の部会の準備を進めます。

次回は1月13日(月)午後2時から、イーグレひめじ4階セミナー室C、Dで開催予定です。